

令和 5 年度 南河内医療・病床懇話会における主な意見（概要）

開催日時：1 月 10 日 場所：南河内府民センター 講堂

1 第 8 次大阪府医療計画に関する意見

特になし

2 地域医療構想の推進に関する意見

【全体】

特になし。

【各病院の対応方針（病院プランにおける 2025 年に検討している病床機能等）】

（1）公立・公的病院

特になし。

（2）その他、民間病院等

特になし。

【近畿大学病院移転後の後継医療機関の候補】

（質問）

近畿大学病院移転後の跡地は広大であるのに、119 床のリハビリテーション病床だけの整備になるのか。他に病床機能を再編統合するといった予定はないのか。

（近畿大学の回答）

後継病院は 1 病院で、敷地の一部を利用する予定。全体の跡地利用については、開発事業者と協議しており、商業施設を誘致する等を検討しているが、行政とも協議をしながら進めたい。

（意見）

地域医療構想において、リハビリ病床の不足を指摘されているが、実際の在院患者数は減少傾向。また、回復期リハ病床の稼働率は 2022 年度 80% 台と報告されているが、この病床の稼働率としては、かなり低く、現場の感覚としては、本当に回復期が不足しているのか疑問を感じる。

そのような状況で近畿大学病院の後継病院として回復期を 119 床整備するのは齟齬があると感じる。しっかり検証してもらいたい。

（事務局の回答）

全体の入院患者数が減少している中、回復期においては、現在横ばいであるが、コロナ禍前は増加傾向であった。稼働率は、他の入院料と比較すると高く、将来推計人口の予測から回復期リハビリテーション病棟は特に増加が見込まれる入院料であり、需要があるものと考えている。

【保健医療協議会において対応方針について説明を依頼する病院】
特になし。

【重点支援区域の申請（申請しないことについて）】
特になし。

【病床機能再編支援事業申請医療機関】
特になし(申請医療機関なし)。